

緊急事態宣言下のひとり旅 その2 9月

”本州最北端下北半島への旅”

渡邊 美穂子 S40 文

羽越本線象潟の九十九島から下北半島中央部の恐山
津軽海峡に面した仏ヶ浦を旅してきました。

<象潟（きさがた）・九十九島>



今回も列車は
貸し切り状態



黄金の稲穂の海に浮かぶ島

鳥海山を背景に100余りの丘が
田園に浮かぶ島のように見えます。
江戸時代は”東の松島、西の象潟”
と称されるほど景勝地。



大人の休日倶楽部 吉永小百合のCM
写真はネットから拝借

<下北半島 恐山 菩提寺>



日本三大靈場の一つである
恐山菩提寺



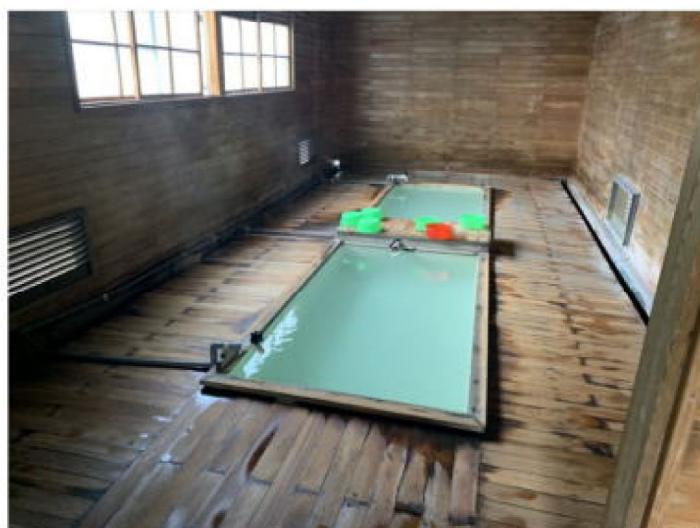
862年天台宗慈覚大師円仁が
開基した



死者が集まる恐山
イタコによる口寄せが行われる



7月の恐山大祭では多くの人が
集まる。9月とはいえまったく
人がいないのは少し不気味



靈場内には温泉が湧いていて
共同浴場がある。
利用者がいないのは珍しいので
ゆっくりと楽しみました。
なお、写真はありません。

<下北半島 仏ヶ浦>



津軽海峡に面した2キロにわたる壮大な絶壁、奇岩が連なる海岸線、
2000万年前の海底火山活動によって形成され、長い年月をかけ
自然が作り上げた景観



観音様の横顔

佐井村から遊覧船に乗り観光、海上からでなければ
この壮大さは味わえない



佐井村はウニの産地、たっぷりの
ウニをのせたうウニ丼 美味しかった